



みんながつながる
みんなが輝く
I ♥ ASAO

あさお希望のシナリオプロジェクト

令和2年7月 麻生区役所



川崎市「希望のシナリオ」プロジェクトの目指す方向性

川崎市では10年後を目標に、多様なつながりや居場所があり、お互いに認め合い、誰もが幸せでいられる「希望のシナリオ」の実現を目指す「これからのコミュニティ施策の基本的考え方」を策定。

10年後のまちの姿ってなんだろう

10年後の私は
どうしたいんだろう

10年後の地域の
姿に向けチャレンジ
したいことは？



さまざまな分野との
意見交換が必要

現状と課題を知る
ことも大事

川崎市「希望のシナリオプロジェクト」 における2つのキーワード

「まちのひろば」

地域レベル
の取組み

区域レベル
の取組み

「ソーシャルデザインセンター」

「希望のシナリオ」実現に向けた方向性

地域レベル 「まちのひろば」の創出

- ・参加のきっかけとなる地域の居場所
- ・誰もが気軽に集える出会いの場
- ・地域の課題解決の場 など



- ・公共施設の地域化（庁舎、学校、いきいの家、こ文など）
- ・民間地域資源やオープンスペースの活用
- ・SNS上 など



「希望のシナリオ」実現に向けた方向性

区域レベル 「ソーシャルデザインセンター」の創出
 地域での新しい活動や価値を産み社会変革を促す基盤
 (プラットフォーム)

- ・人や団体、企業、資源、活動をつなぐコーディネート機能と プロデュース機能
- ・支援のニーズ(活動支援、資金助成、相談、情報収集)とメニューの効果的なマッチング
- ・人材育成(地域の担い手や社会的起業家など)
- ・地域メディアやSNSを活用した情報の受発信
- ・新たな参加、交流のきっかけづくり
- ・各区の特性に応じて必要とされる機能 など

あさお「希望のシナリオ」プロジェクト

あさお「希望のシナリオ」プロジェクト参加者募集開始!

令和2年1月26日(日) 第1回キックオフミーティング開催



みんながつながる
 みんなが輝く
 I ♥ ASAO



各テーマの今後の方向性

テーマ① 地域のプレーヤーになろう・育てよう

まちをもっと豊かで楽しくするために、多くの人が地域活動に参加していく仕掛けやイベントの開催などを考えます。



多くのプレーヤーの参加を促し、居場所づくりを実践し、ノウハウを見える化して、区民への波及効果を図る

テーマ② 地域のことをもっと知ろう・つなごう

地域の情報をもっと多くの人に届けるために、地域資源の見える化のアイデアなどを考えます。



地域資源情報を実際に見て知って深掘りする
⇒必要な人に必要な情報を届ける

プロジェクトのゴール設定(案)

10年後

住まいの近くに安心できる居場所があり、区民が助け合う安心したまちを実感

5年後

まちのひろば創出やSDC機能の充実を図る。

3年後

モデル実施によりプロジェクトの課題解決を行いながら、麻生区らしいSDCの在り方を検討し、SDCを立ち上げる

1年後

現在

まずは多くのプレーヤーの参加、地域資源の確認・発信などを推進し、成果を検証し、次のステップへ！



みんながつながる
みんなが輝く
I ♥ ASAO

あさお希望のシナリオプロジェクト

テーマ① 検討の進め方

令和2年7月 麻生区役所



テーマ1 振り返り

2つの取り組みの方向性、2つの視点から、
やってみたいことについて意見交換を実施した

【取組の方向性】

多世代交流

3グループ、21名

交流機会の創出

5グループ、30名



【視点】

プレイヤーに
なろう

プレイヤーを
育てよう

テーマ1 主に出た意見

多世代交流のために・・・

- ・子どもたちが「溜まれる場所」をつくる
- ・様々なコミュニティがフラットで無理なく集える
- ・地産地消の食育のつどい
- ・働いている人が参加できる講座やサロン
- ・活動実現のための事業費や手続きの見える化
- ・潜在能力の発掘、シニア層・若年層の人材獲得 等

⇒ 多くのプレイヤーの参加を促すために、参加へのハードルを下げることや運営のあり方など幅広い意見がありました。

主に出た意見

交流機会の創出のために・・・

- ・クリーンアップイベントや清掃活動に参加
- ・駅ピアノの継続支援をプロジェクトで
- ・地域経済を活性化するような取組
- ・マルシェ等の既存イベントに参加
- ・地域情報の発信
- ・活動情報をまとめた「活動バンク」を作る 等

⇒ 活動参加の他、情報発信に関する意見も多数あり、テーマ2(地域のことをもっと知ろう・つなごう)で取り組んでいきたいと考えています。

テーマ1 検討の進め方①

今までのワークショップで皆さまからの意見の中で具体的な取り組みに繋がるキーワードを基に、次のような身近な分野で居場所づくりを検討する予定でした。(コロナ禍の前の状況)

コロナ禍の前の状況

食育

地産地消の推進のもと、シニアと親子で食事しながら食について学ぶワークショップなど

福祉

福祉応援フリーマーケットの開催、ふらっとボランティア活動など

防災

おうちキャンプの基本を指導者から親子で教わる取り組み、親子向け防災啓発など

美化

街のクリーンアップ活動や美化活動に参加し、他の地域での活動推進につなげるなど

テーマ1 検討の進め方②

現在、非常事態宣言は解除されましたが、新型コロナウイルス感染防止のための「新たな生活様式」に沿った生活の中で、コミュニティをどう推進していくかという新たな視点を加えて、検討する必要があります。

食育

福祉

防災

美化



?(新たな取組)

新たな生活様式

- ・人と人との適切な距離をとる
- ・3つの密(密閉・密集・密接)の防止
- ・マスク着用、手洗いの徹底
- ・室内の換気

検討していく中で、新たな取り組みアイデアも出てくるかもしれません

テーマ1 検討の進め方③

4つの分野以外にも、メンバーからいろいろなやりたい分野の意見をいただきました。こうしたやりたいことを単発として見ず、上手くコラボして取り組んでいただくと、分野間のつながりや交流が生まれるのではないのでしょうか。

食育

福祉

防災

美化



他分野・・・芸術、音楽、教育、映画、
観光、健康、農・・・

いまだかつてない新たな取組み！

テーマ1 R2取組みの方向性

小さな取組みから始めていこう(火おこし)

コロナ禍
での日常

- 人と話す機会が減る
- 外に出る機会が減る
- 行動に規制ばかり

- つめる不安
- 運動機能低下
- ストレスを溜め込む

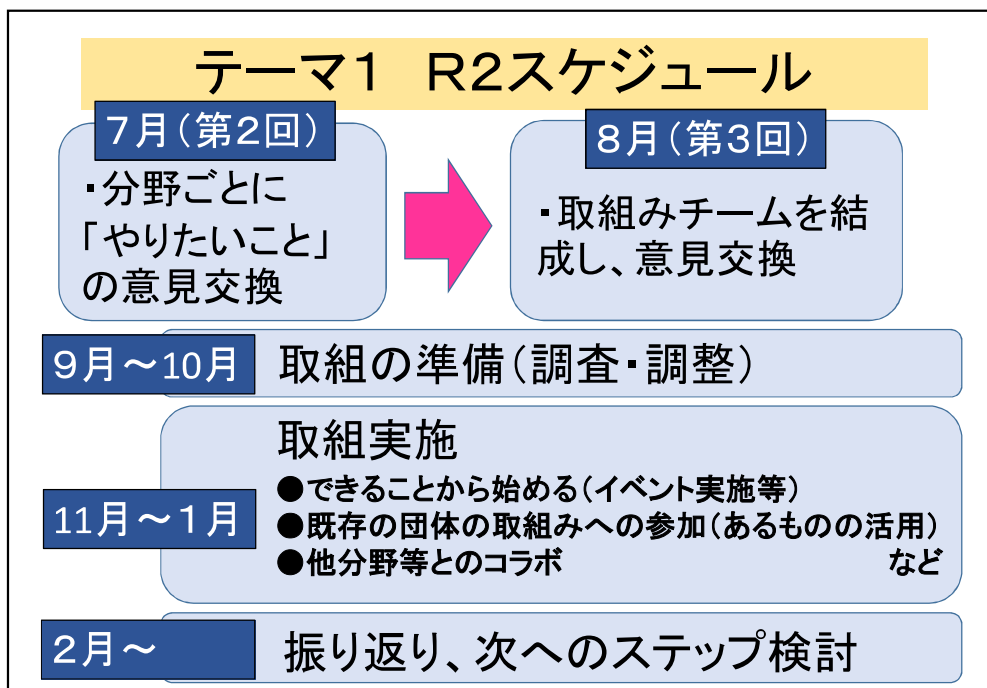
小さな取
組による
効果

- 人と話せる(リモート含)
- 誰かと何かをやれて楽しい
(楽しさを共有・共感)
- ほっとできる場ができる
- いつかこんなこともしてみたい(未来への希望)

癒し

やすらぎ

安心感



ワークショップについて

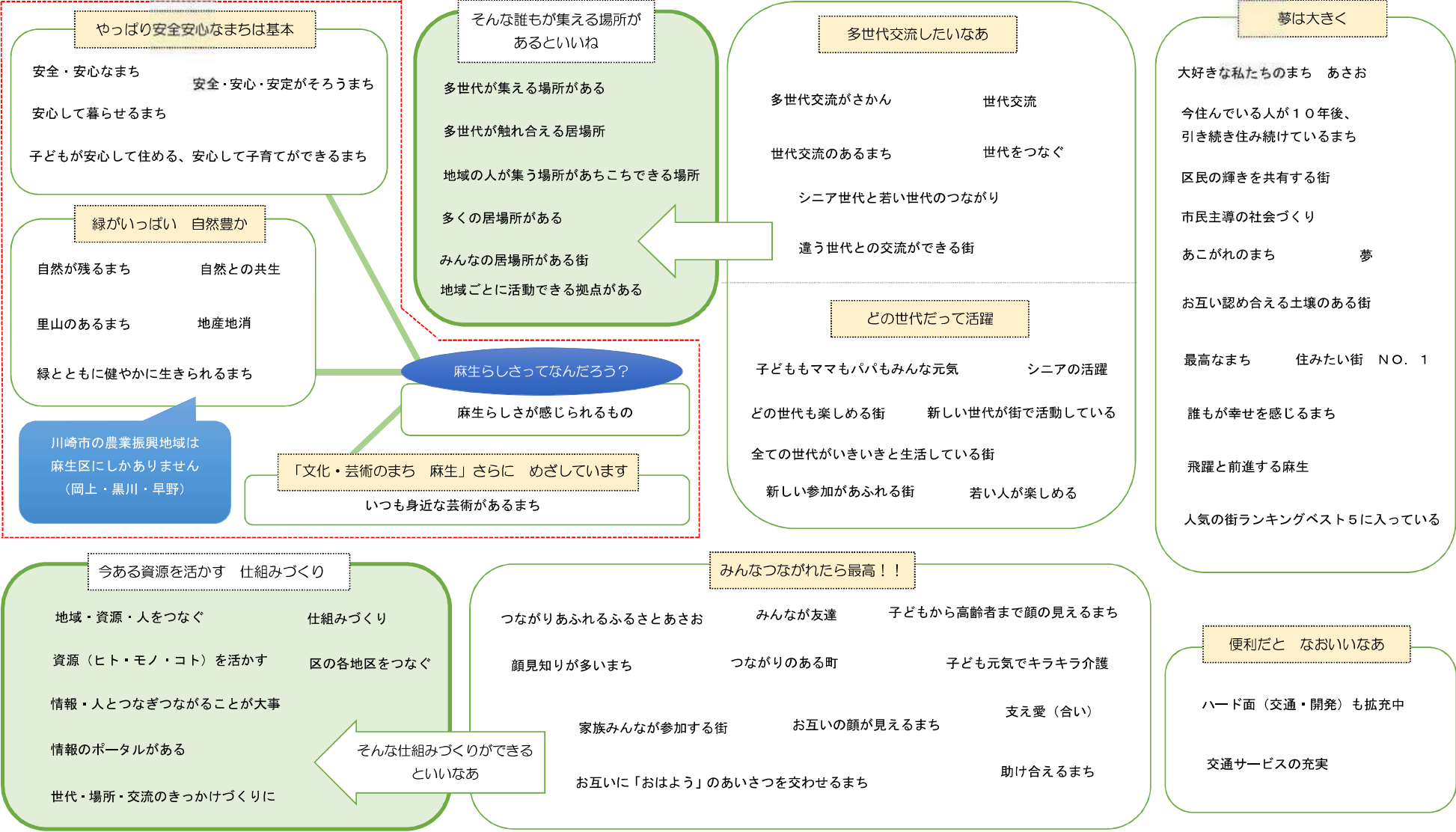
参加したグループ(分野ごと)で、次の3点について
意見出しをします

お聞きしたい意見	例(食育分野)
その分野で やりたいこと	子ども向けに、あさおの野菜 を紹介する歌の作成、普及
効果(こんな いいことがある)	子育て世代への食育・地産地 消の啓発推進につながる
課題 (コロナ禍含む)	※ 思いつくことがあれば記載

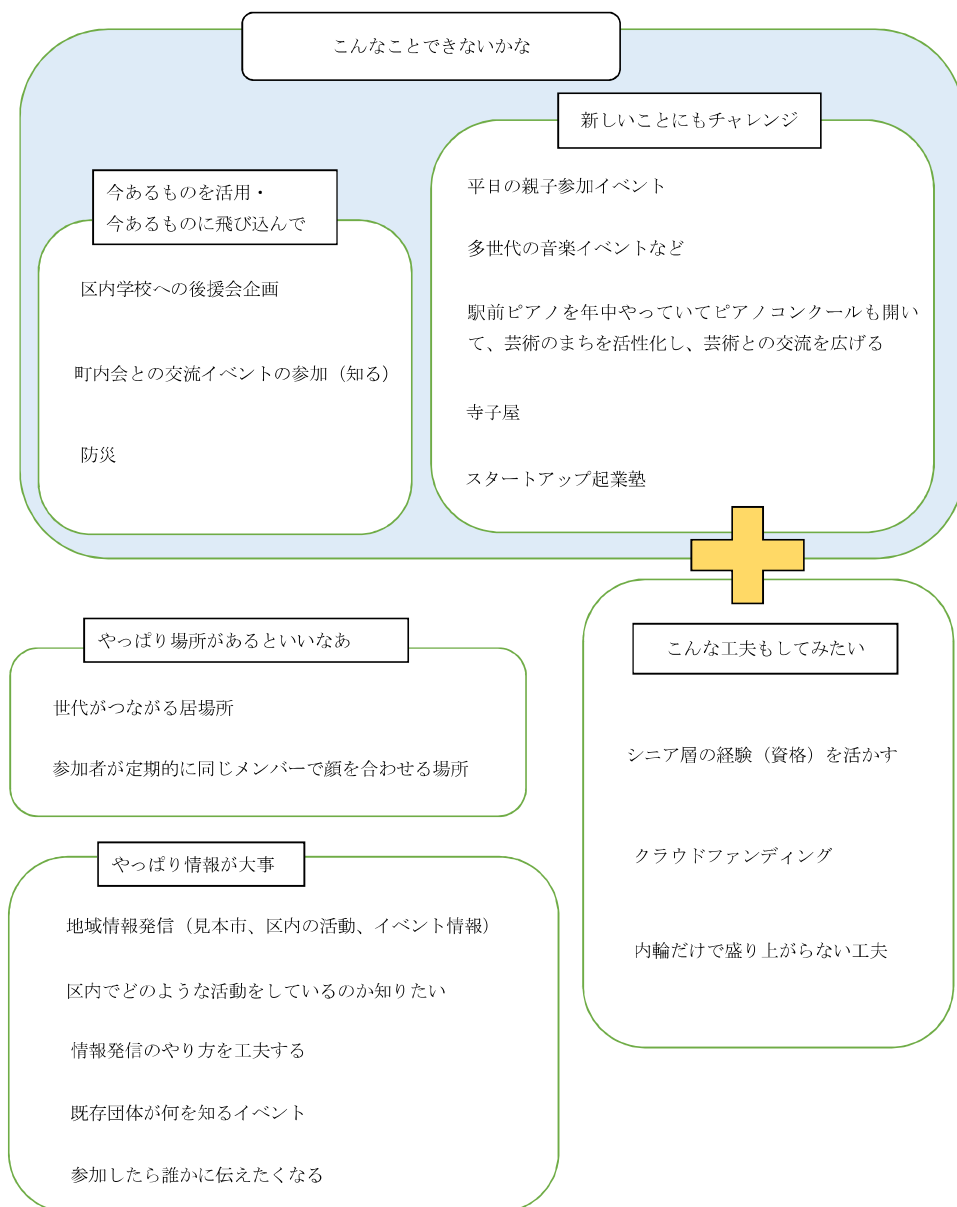


あさお希望のシナリオプロジェクト「10年後のまちがこうだったらいいな・こうしたいな」

みんながつながる みんなが輝く I ♥ ASAO



交流機会の創出 やりたいこと・できそうなこと



多世代交流 やりたいこと・できそうなこと

